

園庭にプールが設置され、2階のテラスにもシェードが取り付けられ景色はすっかり夏モードです。そして、あちらこちらから水遊びに興じる子どもたちの楽しそうな歓声が聞こえてきて楽しい気分をお裾分けしてもらっています。さて、お裾分けといえば先日の「梅ジュース屋台」では大勢のお客さんで賑わいました。

自分たちで収穫した梅で作った梅ジュースの味は格別だったようで、「いらっしゃいませ、おいしいですよ」の言葉も想いがこもっているように感じました。コロナで控え気味にしていた食育活動ですが、衛生面に十分に配慮しながら子ども時代の体験を保障していきたいと思います。

《黒い生き物》

平飼いでいる黒いニワトリがいるという噂を聞いて年長いきいき組が港南区にある里山の農園に探検に行ってきました。見たこともないような大きな竹林の中ではミツバチを飼っている箱が置いてあったり、また、たくさんの種類の野菜が植えてある大きな畑には園庭では見られない虫や蝶があちらこちらから現れてきます。そんな畑の片隅に今にも倒れてしまいそうな蔵がありました。古い扉の隙間から中を覗いてみると真っ暗な部屋の中で何かが動いているような・・・農家のお兄さんに聞いたところ「まっくろくろすけがいるよ！」

あっそういえば、保育園にも黒いカラスや黒いチョウチョ、クワガタ、カブトムシ・・・黒い生き物がどんどん増えている・・・これもまっくろくろすけの仕業かもしれない！！子どもたちの想像力は膨れ上がります。今月はいきいき組さんの夏の最大のイベントお泊り会が行われます。テーマは「まっくろくろすけに扮したコロボックルとの交流」です。嘘のような本当の話を楽しむ一ヶ月になりそうです。

《保育園からのお願い・お知らせ》

先月のお便りでもお伝えしましたが、7月8月は職員の研修や夏季休暇なども入ってきます。保育時間予定表に記入できなかった職場のお休みや、家族の旅行の日程などわかりましたら担任までお知らせください。」

《どんなお願い事をしましたか？》

港南区のカフェこやぎさんの里山から切り出した竹が玄関前に二本。今週から玄関前には七夕の短冊が飾られました。何気ないお願い事でもそこには親の願いや子ども達の真剣な夢が書かれているようです。「アイドルになりたい」「サッカー選手になりたい」「ニルスから飛び降りられるようになりたい」「おかあさんのお手伝いをしたい」等々、ひとりひとりの子どもの表情を思い浮かべながら読んでみると“その子らしさ”が出ていて笑ってしまいました。

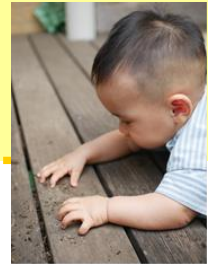
各クラスの「科学する心」をお伝えします！



にこにこ

外気浴を楽しむにこにこ組の子どもたちは、ウッドデッキの環境に興味津々です。プランターに生えている葉にゆっくりと手を伸ばし、引き抜くことが何よりも楽しい様子でした。ウッドデッキへ出る回数が増えることで引き抜くだけでなく、“これは何だろう”と真剣な表情を見せながら抜いた葉っぱを千切る姿が見られました。また、草の下にある土の存在に気がつく指先でチョンと触れています。指先や手の平が真っ黒になったことに気付き“あれ？”と不思議そうに見つめて床に擦りつけますが、綺麗にならず“何でだろう？”と更に不思議がっていました。

これからも草や土や氷等、様々な物に触れる子どもたちの“これは何だろう”の気持ちに共感しながら、一緒に探索していきたいと思います！



よちよち

よちよち組では、玩具のコップを持って「ジュース！」「おちゃ！」などと言いながらままごと遊びを楽しんでいる子が多いので、6月から色水が入っているペットボトルの玩具をお部屋に出しました。

ある日、一人の子が色水ペットボトルを振って遊んでいたのですが、突然「あ！」と声を出して中をじっと見つめていて、その視線の先には振ったことによってできた泡がありました。「泡が出てきたね」と声を掛けると、「あわ！」と言って見つめ続け、時間が経って泡が消えてしまうと「あわ、ない」と言ってさらにペットボトルをフリフリ。振ったら泡が出てくることが分かったのか、同じことを何度も繰り返していました。そして、その姿を見ていた周りの子どもたちも、色水ペットボトルを手に持ち、同じように振っては中を見つめて「あわ、でた～！」「もうっかい！」などと言いながら、泡が出来たり消えたりする様子を楽しんでいました。これからも子どもたちの発見、気付いたことに目を向けて、大人も一緒に楽しんでいきたいと思ひます！





すくすく



お天気が良く暑い日の子どもたちのブームは、泥水遊びです。泥水をスプーンやスコップで掬ってお料理遊びをしたり、直接手や足で泥や水の感触を楽しんだりしています。

そこで、泥を壁やテーブルに塗って遊んでいた子が「あれ、色が違う」「土になっちゃった」など驚いた表情で保育士に伝えてくれていました。保育士が「ほんとうだね、どうしたんだろう」と声を掛けると、「なんだろ？もういっかいやる」と繰り返し遊ぶことで、泥が乾き土になる変化に気づいていました。また、テーブルの土を小さなほうきで掃除していた子が、ほうきを動かした時にできた土の模様に興味を示して、ほうきの向きを変えることで模様が変わることを楽しむ姿が見られました。子どもたちが遊びを通して気づいたことや発見したことを大切にしながら、夏ならではの遊びを満喫していきます。



のびのび



雨上がりの園庭、テーブルの上に出来た水たまりで子どもたちが絵を書いて遊んでいました。その姿から、水の不思議を感じられる遊びを室内でも楽しみ、黒い画用紙の上に半紙を乗せ、指に水をつけ絵を書いてみました。子どもたちは「へびかいたよ」「てんてんになった」と出来た模様を喜んで教えてくれました。出来たものを保育室に飾っておくと、数時間後に絵が消えて、気が付いた子どもたちが不思議そうに眺めていました。「どこにいっちゃったのかな？」という保育士の問いかけに「水だから乾いた」「おうちにかえた」「誰かが消しゴムで消したんじゃない？」と自分たちなりに考えを巡らせ、話してくれました。

水の絵が消えた不思議の答えは出していませんが、その後園庭に出ると「こっちの水たまりはまだあるね」と水が変化していく事に興味を示す姿も見られるようになりました。これからも、子どもの遊ぶ姿から『なんでだろう』が感じられる体験をたくさんしていきたいと思います。





わくわく



《坂で遊ぼう！》

園庭で、重ねたビールケースにベンチを立てかけ白砂を流して遊び始めた子どもたち。流してはまた砂を集めてを繰り返して楽しんでいました。集めようとする砂が砂利だったりきめの細かいものだったり子どもによって違っていただけでも興味深かったです。言葉にはしていなかったものの、どんな砂かによって流れ方が違うことに気がついていたのかもかもしれません。

翌日から室内にも坂を作ってみると、トイレトーパーの芯や丸めた紙、画用紙を輪っかにしたものやチラシと次々に持って来てはどのように落ちていくのかを試して、その面白さを友だちや保育士と共有していきました。チラシを滑らせたMちゃんは、最後にふわっと浮き上がるのを見て「ジャスミン（魔法の絨毯）みたい！」と喜び繰り返し遊んでいました。

そして坂遊びと言えば、自分で滑ってみることも欠かせません。土が乾いたトリムの丘が滑ることを発見すると、次々に滑って遊び始め、最後は電車になりきって友だちと連結して滑って遊びました。

注目して見てみると、坂は至る所にあり子どもたちは遊び方を発見しています。そんな子どもたちの気付きを見落とさずに拾い上げて、遊びの広がりを見守っていきたいと思います。



いきいき



花を集めてお土産にすることが大好きな子どもたちは、マイバック（ビニール袋）に、ピンクの花（ペチュニア）を入れ、さらに水を入れていました。少し時間をおいてから袋の中を覗いてみると、「あれ、なんでピンク色の水にならないんだろう？」と疑問の声が出てきました。「花を入れただけだからかもしれないよ」と保育士が応えると「じゃあ揉んでみるよ！」そこから、色水遊びが始まりました！すると「あ、色出てきたかも！」と夢中になって色を出していました。赤いペコニアの花を見つけ揉んでいくと濃い赤色がつき「すごくきれいだよ！」とずっと眺めていました。その後 2 階の生活の森へ行きました。「ラベンダーは紫だから紫色の水を作りたい！」と意気込んでたくさん摘み、作ってみると「あれ、なかなか紫にならないな…なんか茶色いよ？」と思った物とは違うもの。がっかりしていると思いましたが、子どもたちは、「なんかいい匂いがする！」とラベンダーの匂いがいっぱいに広がりました。色が出ない事が分かった後もずっと揉んで「匂いをもっとつけたいの！」と香りのする水作りが変わってました。イメージ通りでなかった時でも子どもたちにとって驚きが沢山あります。そこに保育士も寄り添いながら一緒に楽しんでいきたいです。



給食室

梅雨らしいお天気が続き、ジメジメとした日々が多いですね。気持ちも体も、何となく元気が出ない・・・そんな風を感じるのは、大人も子どもも同じでしょうか？

毎年、植育活動として、子どもたちは色々な野菜を育てていますが、その中にはもちろん、夏野菜もたくさんあります。

今年も、ゴーヤ・オクラ・きゅうり・トマト…

「普段は苦手なものだけど、自分で育てたものは食べられた！」という声が、毎年どのクラスからも聞かれます。そんな声を聞いた時に、まさに食育だなあと感じます。

自分たちでお世話をし、育てたものを食べる。

その活動を通して、子どもたちの食への興味・関心に繋がっていくと良いなと思います。

「夏野菜」と言われているものは、地面の上に実がなるので、水分を多く含み、体を冷やすす働きがあります。

食欲が落ちてしまうこの時期、給食でも、味付けに工夫しながら夏野菜を取り入れていきます。

暑い夏に向けて、食事で体を元気にしていけるような給食作りをしていきたいと思います。



木育係より



木育係りでは、5月から蚕を育てました。初めは小さかった蚕たちですが人工餌やみなさんからも協力していただいた桑の葉をムシャムシャと食べ、すくすくと成長していました。今では蚕マンションに入居し繭を作り終えました。子どもたちの様子は、初めは興味があっても近づけなかった子も毎日覗いていると、指先で触ったり、手のひらに乗せる姿もあったり、虫メガネを使いじっくりと観察している姿もありました。また、登園時や降園時に親子で成長を楽しんでいる姿を見ると嬉しく思いました。

繭玉は今後保育に役立てていきたいと考えています。桑の葉のご協力本当にありがとうございました！

また、6月には虫よけスプレーのドクダミチンキ作りをしました。初回はいきいき組が作ってくれましたが、今回は乳児クラスでも作りました。みんなで作った天然の虫よけスプレーを今年も使用していきたいと思います。作ったドクダミチンキは、事務所の玄関窓に置いてあります。

蚕とドクダミチンキ作りについては、保育園のInstagramでも掲載されていますので是非ご覧ください。



今月の行事

- 4日(火) ケーベルチップマルシェ
- 5日(水) 六ツ川消防総合防災訓練
- 7日(金) セタ祝い
- 8日(土) 布団乾燥
- 17日(月) 海の日
- 20日(木) 久保先生のわらべうた
- 21日(金) いきいき組 お泊り会①
- 22日(土) いきいき組 お泊り会②
- 29日(土) にこにこ組・よちよち組 ふれあいデー